

## 医学教育部修士課程 医科学専攻 カリキュラムツリー

### ディプロマポリシー：

当該家課程の標準修業年限2年以上在学し、所定の単位（必修25単位、選択5単位、合計30単位以上）を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上、修士論文の審査および最終試験に合格することを課程修了の要件とする。

ただし、在学期間に関しては、優れた業績を上げ、博士課程への進学を希望する者については、当該課程に1年以上在学すれば足りるものとする。

修士論文審査と最終試験は、審査委員長1名、審査委員2名以上により構成される審査委員会により行われ、その報告を受けて医学教育部教授会での審議によって合否が決定される。

### カリキュラムポリシー：

高度な専門知識をもって医学・生命科学の分野で活躍できる研究者・教育者・専門職業人を育成するために、オムニバス形式の講義とマンツーマン教育による研究指導を中心としたカリキュラムにより、以下の知識・能力の習得を図ります。

1. 医学・生命科学に関する領域複合的な課題を解決できる学際的な専門知識
2. 国内外でヘルスプロモーションの推進に参画できる先進医療の知識
3. 技術革新によってもたらされる新しい医学・生命科学にも対応できる研究能力

#### 高度な専門的知識・技能及び研究力

- ・ 医学・生命科学に関する専攻分野の専門的な知識を持ち、学術論文を通して知識を更新することができる。
- ・ 医学・生命科学に関する専攻分野の研究課題について、基本的な研究手法を習得し、適切な研究計画を立案し、研究結果を正しく解釈できる。

#### 学際的領域を理解できる深奥な教養力

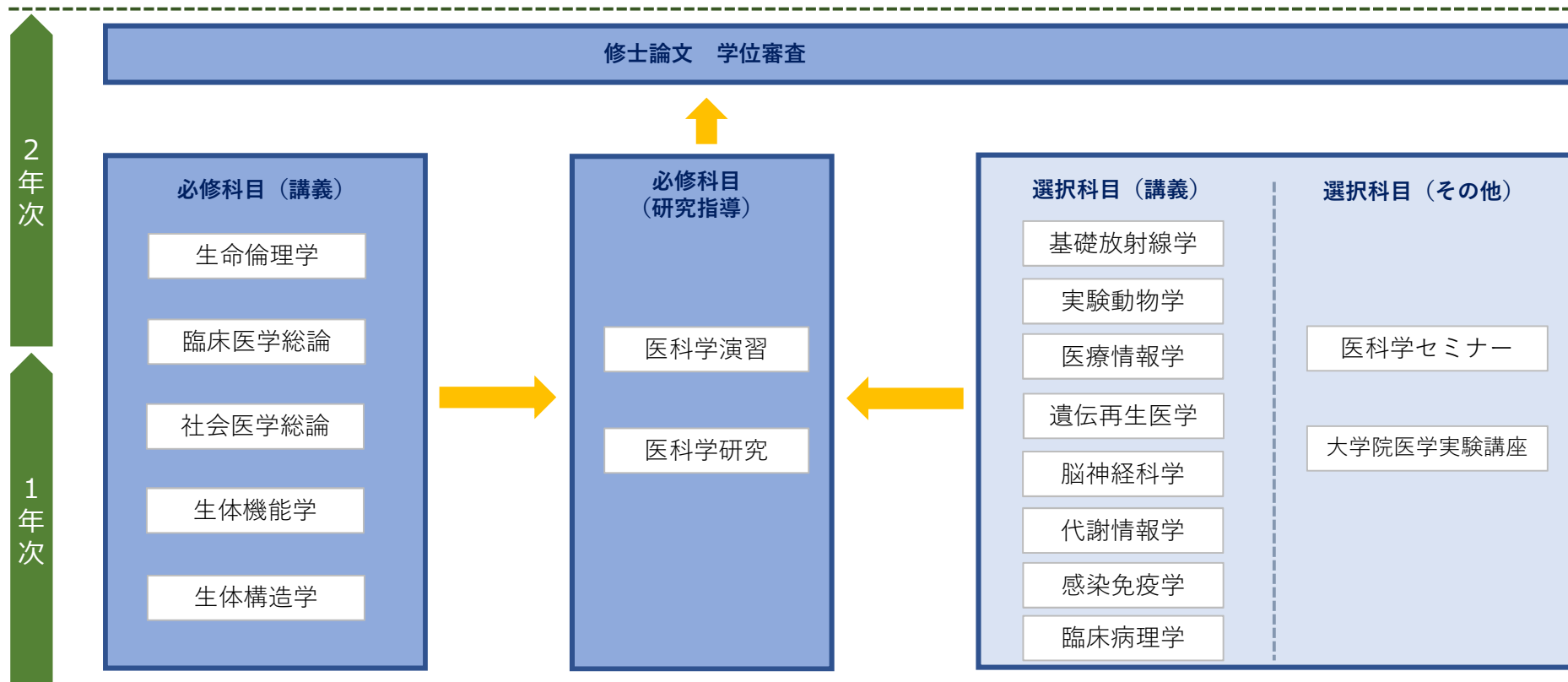
- ・ 基礎医学、臨床医学、社会医学に関する普遍的な知識を持っている。
- ・ 生命倫理、医療倫理、臨床倫理、研究倫理に関する普遍的な知識を持っている。
- ・ 医学・生命科学に関する領域複合的な課題を解決するための方法を立案できる。

#### グローバルな視野と行動力

- ・ グローバルな視野から医学・生命科学に関する国際的な研究活動の推進に参画できる。
- ・ 環境、保健、医療制度に関する知識とグローバルな視野を持ち、国際的なヘルスプロモーションの推進に参画できる。

#### 地域社会を牽引するリーダー力

- ・ 修得した医学・生命科学の専門知識を活かして、地域の環境・健康・医薬品産業などの推進を牽引できる。



# 医学教育部博士課程 医学専攻 カリキュラムツリー 一般コース (基礎医学系・臨床医学系)

## ディプロマポリシー：

当該課程の標準修業年限4年以上在学し、30単位以上を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査および最終試験に合格することを課程修了の要件とする。ただし、在学期間に関しては、優れた研究業績を上げた者については、当該課程に3年以上在学すれば足りるものとする。

学位申請には、「A. 本人が筆頭（第1）著者となっている学位論文1編」または「B. 学位論文（Thesis）と本人が筆頭（第1）著者となっている関連論文1編以上」の提出を必要とする。所定の単位を修得し学位論文を提出した者について、学位論文の審査及び最終試験を行う。

学位論文審査と最終試験は、審査委員長1名、審査委員2名以上により構成される審査委員会により行われ、その報告を受けて医学教育部教授会での審議によって合否が決定される。

## カリキュラムポリシー：

医学・生命科学分野で活躍する国際水準の研究者・教育者、高い研究志向を備えた臨床医など、研究マインドを持つ医療人を育成するために、オムニバス形式の講義・コースワークと、複数の指導分野の協同による研究指導を中心としたカリキュラムにより、以下の知識・能力の修得を図る。

1. 先進の医学・生命科学に関する領域複合的な課題を解決できる高度で学際的な専門知識
2. 医学・生命科学分野の国際レベルでの先端的研究を遂行できる高い研究能力
3. 国内外で先進医療の推進と医療技術の革新をリードできる高度な医学知識と臨床技術

### 高度な専門的知識・技能及び研究力

- ・医学・生命科学に関する専攻分野の高度で専門的な知識を持ち、学術論文を通して知識を更新することができる。
- ・医学・生命科学に関する専攻分野の主要な研究手法について習得している。
- ・医学・生命科学に関する専攻分野の研究課題について到達目標を設定し、適切な研究計画を立案・実行でき、適切な判断力と洞察力をもって自律的に研究を進展できる。

### 学際的領域を理解できる深奥な教養力

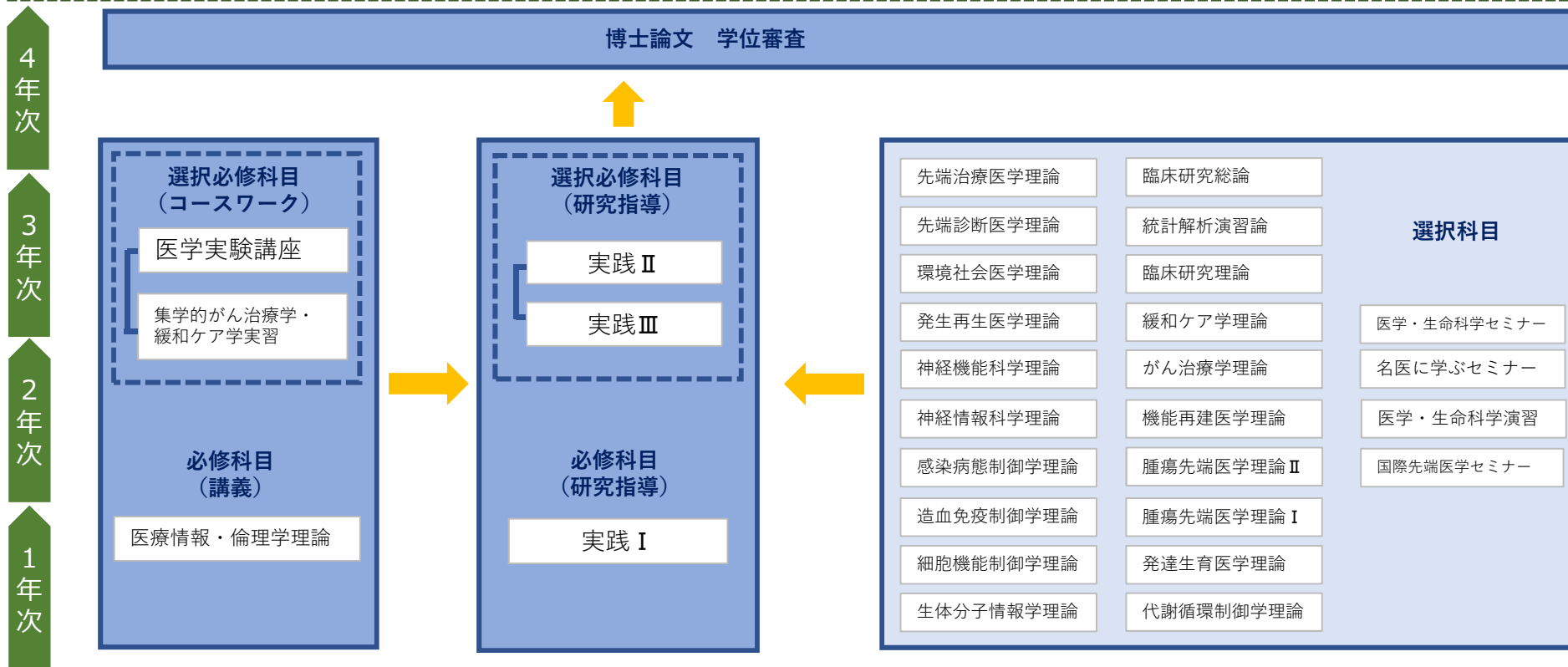
- ・医学・生命科学に関する広い領域について高度な知識を持っている。
- ・生命倫理、医療倫理、臨床倫理、研究倫理に関する高度な知識を持っている。
- ・医学・生命科学の最先端の知見を吸収し専攻分野に応用する柔軟な発想を持っている。

### グローバルな視野と行動力

- ・医学・生命科学に関する研究成果をもとに英文原著論文を執筆し国際学術雑誌に報告できる。
- ・医学・生命科学に関する研究成果について国際学会等で発表できる。
- ・国内外の研究者等とのコミュニケーションを通じて共同研究等を企画・実践できる。

### 地域社会を牽引するリーダー力

- ・先進医療に関する高度で専門的な知識及び技術を持ち、地域における最先端の医療を牽引できる。
- ・トランスレーショナル研究、臨床研究および治験に関する高度で専門的な知識を持ち、医療技術開発を牽引できる。
- ・環境・社会医学に関する高度で包括的な知識と技術を持ち、地域の健康増進と医療福祉を牽引できる。



# 医学教育部博士課程 医学専攻 カリキュラムツリー 発生・再生医学研究者育成コース

## ディプロマポリシー：

当該課程の標準修業年限4年以上在学し、30単位以上を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査および最終試験に合格することを課程修了の要件とする。ただし、在学期間に関しては、優れた研究業績を上げた者については、当該課程に3年以上在学すれば足りるものとする。

学位申請には、「A. 本人が筆頭（第1）著者となっている学位論文1編」または「B. 学位論文（Thesis）と本人が筆頭（第1）著者となっている関連論文1編以上」の提出を必要とする。所定の単位を修得し学位論文を提出した者について、学位論文の審査及び最終試験を行う。

学位論文審査と最終試験は、審査委員長1名、審査委員2名以上により構成される審査委員会により行われ、その報告を受けて医学教育部教授会での審議によって合否が決定される。

## カリキュラムポリシー：

医学・生命科学分野で活躍する国際水準の研究者・教育者、高い研究志向を備えた臨床医など、研究マインドを持つ医療人を育成するために、オムニバス形式の講義・コースワークと、複数の指導分野の協同による研究指導を中心としたカリキュラムにより、以下の知識・能力の修得を図る。

1. 先進の医学・生命科学に関する領域複合的な課題を解決できる高度で学際的な専門知識
2. 医学・生命科学分野の国際レベルでの先端的研究を遂行できる高い研究能力
3. 国内外で先進医療の推進と医療技術の革新をリードできる高度な医学知識と臨床技術

### 高度な専門的知識・技能及び研究力

- ・医学・生命科学に関する専攻分野の高度で専門的な知識を持ち、学術論文を通して知識を更新することができる。
- ・医学・生命科学に関する専攻分野の主要な研究手法について習得している。
- ・医学・生命科学に関する専攻分野の研究課題について到達目標を設定し、適切な研究計画を立案・実行でき、適切な判断力と洞察力をもって自律的に研究を進展できる。

### 学際的領域を理解できる深奥な教養力

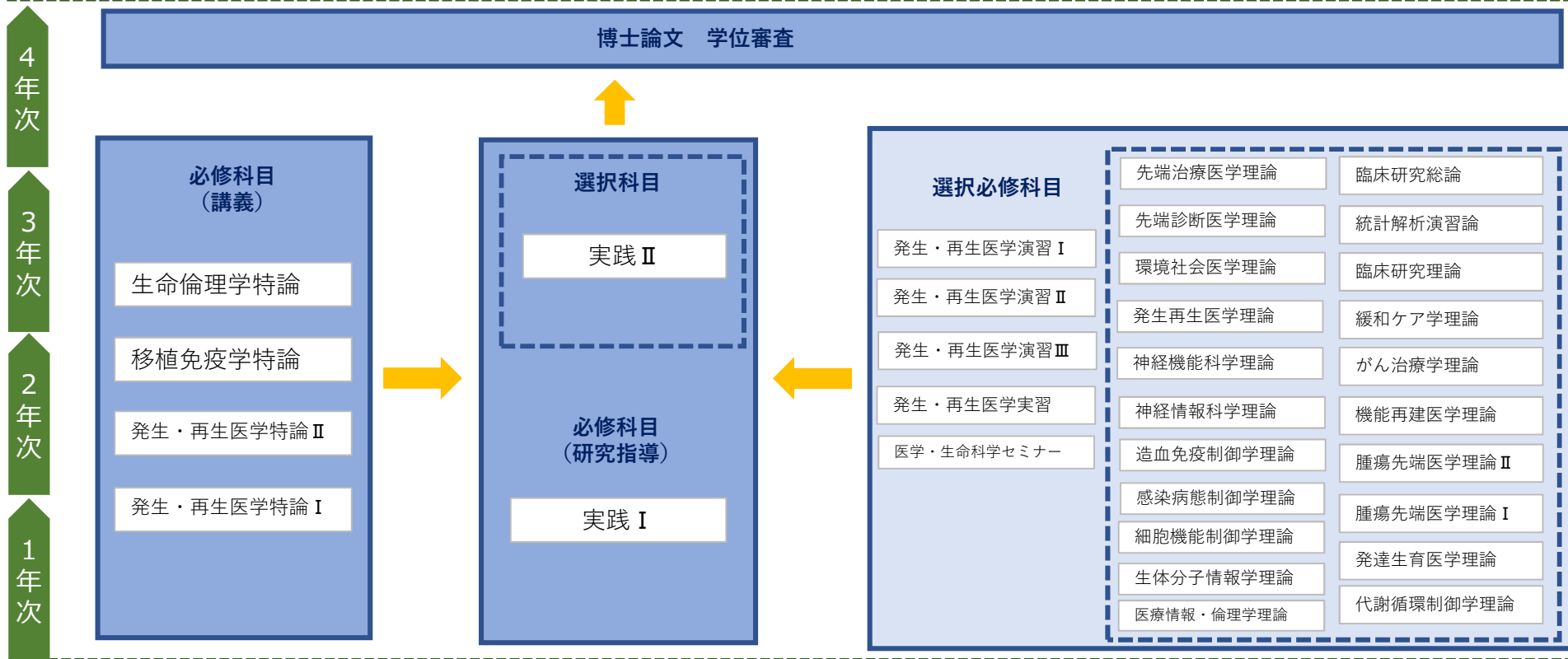
- ・医学・生命科学に関する広い領域について高度な知識を持っている。
- ・生命倫理、医療倫理、臨床倫理、研究倫理に関する高度な知識を持っている。
- ・医学・生命科学の最先端の知見を吸収し専攻分野に応用する柔軟な発想を持っている。

### グローバルな視野と行動力

- ・医学・生命科学に関する研究成果をもとに英文原著論文を執筆し国際学術雑誌に報告できる。
- ・医学・生命科学に関する研究成果について国際学会等で発表できる。
- ・国内外の研究者等とのコミュニケーションを通じて共同研究等を企画・実践できる。

### 地域社会を牽引するリーダー力

- ・先進医療に関する高度で専門的な知識及び技術を持ち、地域における最先端の医療を牽引できる。
- ・トランスレーショナル研究、臨床研究および治験に関する高度で専門的な知識を持ち、医療技術開発を牽引できる。
- ・環境・社会医学に関する高度で包括的な知識と技術を持ち、地域の健康増進と医療福祉を牽引できる。



# 医学教育部博士課程 医学専攻 カリキュラムツリー 感染症およびエイズの克服を目指した先端研究者育成コース

## ディプロマポリシー：

当該課程の標準修業年限4年以上在学し、30単位以上を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査および最終試験に合格することを課程修了の要件とする。ただし、在学期間に関しては、優れた研究業績を上げた者については、当該課程に3年以上在学すれば足りるものとする。

学位申請には、「A. 本人が筆頭（第1）著者となっている学位論文1編」または「B. 学位論文（Thesis）と本人が筆頭（第1）著者となっている関連論文1編以上」の提出を必要とする。所定の単位を修得し学位論文を提出した者について、学位論文の審査及び最終試験を行う。

学位論文審査と最終試験は、審査委員長1名、審査委員2名以上により構成される審査委員会により行われ、その報告を受けて医学教育部教授会での審議によって合否が決定される。

## カリキュラムポリシー：

医学・生命科学分野で活躍する国際水準の研究者・教育者、高い研究志向を備えた臨床医など、研究マインドを持つ医療人を育成するために、オムニバス形式の講義・コースワークと、複数の指導分野の協同による研究指導を中心としたカリキュラムにより、以下の知識・能力の修得を図る。

1. 先進の医学・生命科学に関する領域複合的な課題を解決できる高度で学際的な専門知識
2. 医学・生命科学分野の国際レベルでの先端的研究を遂行できる高い研究能力
3. 国内外で先進医療の推進と医療技術の革新をリードできる高度な医学知識と臨床技術

### 高度な専門的知識・技能及び研究力

- ・医学・生命科学に関する専攻分野の高度で専門的な知識を持ち、学術論文を通して知識を更新することができる。
- ・医学・生命科学に関する専攻分野の主要な研究手法について習得している。
- ・医学・生命科学に関する専攻分野の研究課題について到達目標を設定し、適切な研究計画を立案・実行でき、適切な判断力と洞察力をもって自律的に研究を進展できる。

### 学際的領域を理解できる深奥な教養力

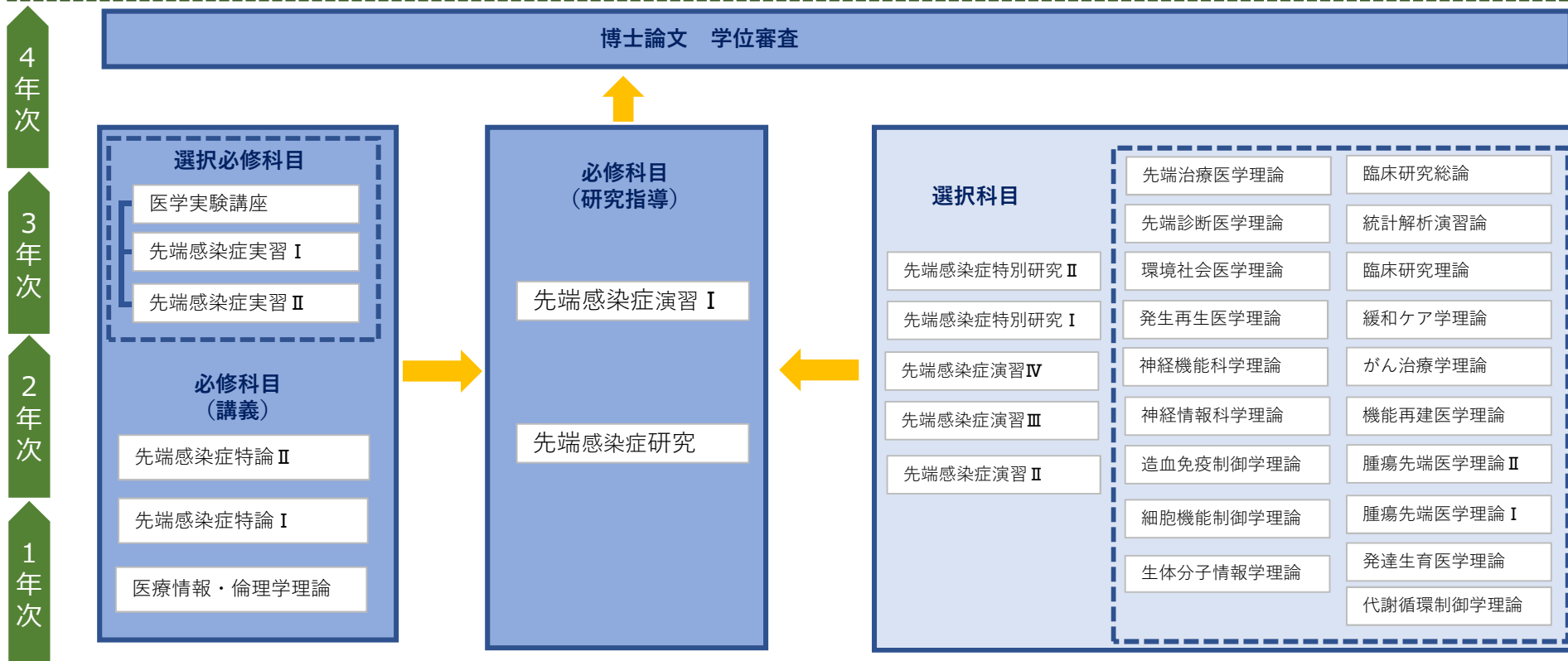
- ・医学・生命科学に関する広い領域について高度な知識を持っている。
- ・生命倫理、医療倫理、臨床倫理、研究倫理に関する高度な知識を持っている。
- ・医学・生命科学の最先端の知見を吸収し専攻分野に応用する柔軟な発想を持っている。

### グローバルな視野と行動力

- ・医学・生命科学に関する研究成果をもとに英文原著論文を執筆し国際学術雑誌に報告できる。
- ・医学・生命科学に関する研究成果について国際学会等で発表できる。
- ・国内外の研究者等とのコミュニケーションを通じて共同研究等を企画・実践できる。

### 地域社会を牽引するリーダーカ

- ・先進医療に関する高度で専門的な知識及び技術を持ち、地域における最先端の医療を牽引できる。
- ・トランスレーショナル研究、臨床研究および治験に関する高度で専門的な知識を持ち、医療技術開発を牽引できる。
- ・環境・社会医学に関する高度で包括的な知識と技術を持ち、地域の健康増進と医療福祉を牽引できる。



# 医学教育部博士課程 医学専攻 カリキュラムツリー 代謝・循環情報医学エキスパート育成コース

## ディプロマポリシー：

当該課程の標準修業年限4年以上在学し、30単位以上を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査および最終試験に合格することを課程修了の要件とする。ただし、在学期間に関しては、優れた研究業績を上げた者については、当該課程に3年以上在学すれば足りるものとする。

学位申請には、「A. 本人が筆頭（第1）著者となっている学位論文1編」または「B. 学位論文（Thesis）と本人が筆頭（第1）著者となっている関連論文1編以上」の提出を必要とする。所定の単位を修得し学位論文を提出した者について、学位論文の審査及び最終試験を行う。

学位論文審査と最終試験は、審査委員長1名、審査委員2名以上により構成される審査委員会により行われ、その報告を受けて医学教育部教授会での審議によって合否が決定される。

## カリキュラムポリシー：

医学・生命科学分野で活躍する国際水準の研究者・教育者、高い研究志向を備えた臨床医など、研究マインドを持つ医療人を育成するために、オムニバス形式の講義・コースワークと、複数の指導分野の協同による研究指導を中心としたカリキュラムにより、以下の知識・能力の修得を図る。

1. 先進の医学・生命科学に関する領域複合的な課題を解決できる高度で学際的な専門知識
2. 医学・生命科学分野の国際レベルでの先端的研究を遂行できる高い研究能力
3. 国内外で先進医療の推進と医療技術の革新をリードできる高度な医学知識と臨床技術

### 高度な専門的知識・技能及び研究力

- ・医学・生命科学に関する専攻分野の高度で専門的な知識を持ち、学術論文を通して知識を更新することができる。
- ・医学・生命科学に関する専攻分野の主要な研究手法について習得している。
- ・医学・生命科学に関する専攻分野の研究課題について到達目標を設定し、適切な研究計画を立案・実行でき、適切な判断力と洞察力をもって自律的に研究を進展できる。

### 学際的領域を理解できる深奥な教養力

- ・医学・生命科学に関する広い領域について高度な知識を持っている。
- ・生命倫理、医療倫理、臨床倫理、研究倫理に関する高度な知識を持っている。
- ・医学・生命科学の最先端の知見を吸収し専攻分野に応用する柔軟な発想を持っている。

### グローバルな視野と行動力

- ・医学・生命科学に関する研究成果をもとに英文原著論文を執筆し国際学術雑誌に報告できる。
- ・医学・生命科学に関する研究成果について国際学会等で発表できる。
- ・国内外の研究者等とのコミュニケーションを通じて共同研究等を企画・実践できる。

### 地域社会を牽引するリーダー力

- ・先進医療に関する高度で専門的な知識及び技術を持ち、地域における最先端の医療を牽引できる。
- ・トランスレーショナル研究、臨床研究および治験に関する高度で専門的な知識を持ち、医療技術開発を牽引できる。
- ・環境・社会医学に関する高度で包括的な知識と技術を持ち、地域の健康増進と医療福祉を牽引できる。

